

第19回 日本カンボジア研究会 プログラム

期日：2025年7月26日（土）・27日（日）

開催形態：対面をメインとするハイブリッド（発表は原則対面のみ）

開催場所：京都大学東南アジア地域研究研究所 稲盛財団記念会館3F 中会議室
(<https://kyoto.cseas.kyoto-u.ac.jp/access/>)

7月26日（土）

12:00 開場

12:30～12:40 趣旨説明

12:40～13:30 発表①【オンライン】

ター・スレイヌット（THA Sreynuth）在カンボジア日本国大使館

「現在のパイリンのタン・ユー日傘とチェンマイのポー・サーン日傘（2022年8月～9月）」

“Presently of Tang Yu Umbrella in Pailin and Bo Sang Umbrella in Chiang Mai (August-September 2022)”

13:40～14:30 発表②

國分元太（KOKUBU Genta）東京理科大学

「仏領期カンボジアにおける鉄筋コンクリート造屋根付き市場の研究：S.I.D.E.C.社による構法の標準化と熱帯環境への適応」

“Covered Market in Colonial Cambodia: Standardization and Climatic Adaptation of Reinforced Concrete by S.I.D.E.C.”

14:40～15:30 発表③

岡田知子（OKADA Tomoko）東京大外国語大学

「1980年代社会主義政権下のカンボジアにおける地下写本小説」

“Unofficial Entertainment Fiction After Pol Pot Regime in Cambodia”

15:40～16:30 発表④

下條尚志 (SHIMOJO Hisashi) 神戸大学

「水上集落の形成と日常政治：トンレサップ湖南部の湖畔から考えるカンボジア・ベトナムの間隙」

“The Creation and Everyday Politics of Floating Settlements on Water: The Elusive Space between the Cambodian and Vietnamese States Seen from the Southern Tonle Sap Lakeshore”

16:40～17:30 発表⑤

<高校生による発表>尾上大和 (ONOE Yamato) 宮城県仙台二華高等学校

「カンボジアにおけるマイクロファイナンス活用の現状と課題」

“Current Status and Challenges of Microfinance Utilization in Cambodia”

17:40～18:10 発表⑥

<高校生によるグループ発表>細野景叶・近藤修真 (HOSONO Keito, KONDOU Syuma) 成城高等学校

「スロラウチュルム村における地雷撤去による土地再生」

“Land Reclamation Through Demining in the Village of Slorau Troum”

●懇親会 (希望者のみ)

7月27日 (日)

9:30 開場

10:00～10:50 発表⑦

下田麻里子 (SHIMODA Mariko) 早稲田大学

「前近代カンボジア上座部仏教寺院におけるシーマー石の変遷とその歴史的背景：考古学的視点からのアプローチ」

“The Evolution of Simā Stones in Pre-Modern Cambodian Theravāda Buddhist Temples: An Archaeological Perspective on Historical Context”

11:00～11:50 発表⑧

千葉徹大 (CHIBA Tetta) 東京大学大学院

「カンボジアの医療史と社会制度分析」

“The History of Medicine and Analysis of Social Systems in Cambodia”

11:50～13:00 昼休憩

13:00～13:50 発表⑨

古川はるな (FURUKAWA Haruna) 常葉大学

「カンボジアにおける音楽教育の実践と展望ープノンペンと地方での取り組みから」

“Practice and Perspectives of Music Education in Cambodia: From Initiatives in Phnom Penh and Rural Areas”

14:00～17:00 パネル「カンボジアにおける少数民族研究の現在」

“Multi-ethnic Cambodia: Alternative Perspectives on Its Society”

カンボジアでは1990年代まで少数民族に関する研究が少なかったが、2000年代から現地の史料や長期フィールドワークに基づく研究が増加し、現在、研究に一定の蓄積が見られるようになってきている。だが、少数民族の人々の実際の暮らしやクメール人との関係などはまだ多くの人に知られていないのが実情ではないだろうか。本パネルはカンボジアの少数民族等に関わってきた研究者が登壇し、それらの人々の歴史や現在の状況を示すと同時に、カンボジア社会を見る際のオルタナティブな視点を提示することをめざしている。

パネルの構成は、まず松井報告がカンボジアの少数民族研究の動向、過去の政策の推移と各民族への影響について包括的に論じ、その後に民族的背景を持つ人々についての個別の報告に移る。北東部のラオ人に関する山崎報告は、彼らの語りや地名の特徴等からクメール人との交流を含めた同地域の民族的な特色を概観すると共に、今日の生活世界の変化を考察する。続く石橋報告はカルダモン山脈のペアル語派の人々の視点から、彼らとクメール人の接点および関係について考える。吉本報告はカンボジアに居住するチャム人の言語状況やエスニシティ、ベトナムのチャム人の事例との異同について取り上げ、遠藤報告はチャム人を含むカンボジアへのマレー系住民の移住の歴史について考察する。最後の神田報告は植民地期に発行されたベトナム語出版物を中心に、ベトナム人移民1世を主とす

る当事者の視点から彼らの生活と問題意識を明らかにする。

14:00～14:05 趣旨説明

松井生子 (MATSUI Naruko) 日本女子大学

14:05～14:25 発表 (1)

松井生子 (MATSUI Naruko) 日本女子大学

「カンボジアの少数民族研究：歴史的視点と現在の動向」

“Research on Ethnic Minorities in Cambodia: Past Insights and Present Trends”

14:25～14:45 発表 (2) 【オンライン】

山崎寿美子 (YAMAZAKI Sumiko) 愛国学園大学

「カンボジア北東部のラオ人の民族関係と社会変容」

“Ethnic Relations and Social Change among the Lao People in Northeastern Cambodia”

14:45～15:05 発表 (3)

石橋弘之 (ISHIBASHI Hiroyuki) 室蘭工業大学

「カンボジア西部に暮らすモン・クメール系ペアル語派の人々とクメール社会との接点」

“Mon-Khmer Pearic Group and Their Contact with Khmer Society in Western Cambodia”

15:05～15:15 休憩

15:15～15:30 発表 (4)

吉本康子 (YOSHIMOTO Yasuko) 立命館大学

「カンボジアの「チャム」と言語使用の実態：プノンペン周辺における短期調査を通して」

“The Current Language Use of Cham in Cambodia, Based on Short-term Research around Phnom Penh”

15:30～15:50 発表 (5)

遠藤正之 (ENDO Masayuki) 立教大学

「カンボジアにおけるマレー系住民」
“The Malay Population in Cambodia”

15:50～16:10 発表 (6)

神田真紀子 (KANDA Makiko) 東京外国語大学

「ベトナム語出版物からみた植民地期カンボジアの移住者の諸相」

“Various Aspects of Migrants in Colonial Cambodia through Analysis of Vietnamese
Publications”

16:20～17:00 質疑応答